

獣医学教育を巡る国際的動向 (海外大学、第三者評価機関の取組を中心に)

○ 有識者ヒアリング資料①

(北海道大学獣医学研究科 橋本教授説明資料①)

○ 有識者ヒアリング資料②

(北海道大学獣医学研究科 橋本教授説明資料②)

第4回獣医学教育の改善・充実に関する 調査研究協力者会議

北大獣医学研究科 橋本善春

【報告】

1. 我が国獣医師養成教育のねらいと獣医師国家試験制度の変遷
2. 海外の獣医学教育の現状
3. 欧米の獣医科大学の査察認証評価システム
4. OIEの考え方と「Day 1 graduates」の意味するもの
5. 提言と将来像

1. 我が国獣医師養成教育のねらいと獣医師国家試験制度の変遷

【獣医師免許制度の始まり】

1. 「獣医師免許規則」の公布 (明治18年太政官布告第28号)

明治政府の発足後、畜産の振興や国防の重要性の認識が増大し、獣医師の重要性が認識される。各地で獣医講習会の開催や獣医養成学校の設立が相次ぐ(明治9年:札幌農学校、同10年農事修学場(後の駒場農学校、同14年私立獣医学校(現日獣大)創立される)。

[獣医ハ獣医学術ノ試験ヲ受ケ農商務卿ヨリ開業免許ヲ得タルモノトス](第一条)

ただし(官公立獣医学校または農学校の卒業者は無試験で免許を受けることができる)(第三条)
・修学内容は専ら馬学を主体とする内容で、洋方臨床馬医および陸軍獣医官の養成にあった。

「獣医開業試験規則」の制定 (明治18年太政官布告第17号)

試験科目が規定される:家畜解剖学、生理学、薬物学、内科学、外科学。

「獣医免許規則」(明治23年法律第76号)

獣医免許試験の合格者、官立獣医学校・農学校卒業者、私立獣医学校の卒業者(試験科目として蹄鉄学が加わる)。

人医療分野:「医師試験規則」(明治12年)、医術開業試験規則・医師免許規則(洋方医)(明治16年)、
医師法・歯科医師法公布(明治39年)

(参考資料: 獣医師免許制度の変遷と獣医師国家試験、大橋義光、日本獣医史学会雑誌 49号, 22-28, 2012)

2. 獣医師法の発布

「獣医師法」(大正15年4月7日法律第53号)発布される(昭和2年4月実施)。

- ・牛疫予防法制定(後の家畜伝染病予防法)(明治29年)、牛疫不活化ワクチン(蠣崎千晴)の報告
- ・家畜伝染病予防法その他近代的な法体系整備の一環となる。
- ・当時の獣医業に対する社会一般の理解を深めるための獣医制度改善運動が実を結んだもの。
- ・獣医師の資格が専門学校卒業以上の学力程度に引き上げられた。

3. 新獣医師法の施行と獣医師国家試験の実施

新たな「獣医師法」の公布と実施(昭和24年6月)

- ・戦後の学制改革に伴い、獣医学教育が大学の正規の獣医学4年制課程卒業となる。
- ・試験の目的:「**飼育動物の診療上必要な獣医学並びに獣医師として必要な公衆衛生に関する知識および技能**について行う」

4. 獣医学教育年限延長による獣医学術の高度化

- ・問題点: **医学教育は6年制**でスタートしたが、獣医学教育は当時の農学部門との関連から4年制でのスタートを余儀なくされた(昭和23年~)。
- ・GHQの獣医学教育担当者が日本の獣医学教育の立て直しに尽力したものの、獣医学制度改善に至らなかった(戦争の影響による産業動物数の激減、復員獣医師への対応、行政機構の混乱など)。

獣医学教育6年制が実施される(昭和 52年: 修士課程を加えた積み上げ方式、同 58年: 6年制一貫教育の開始)

【6年制実施の目的】

獣医学教育高度化の要請

- ・**家畜衛生上の諸問題解決、畜産食品の公害問題、海外悪性伝染病の侵入予防、愛玩動物の多様化、動物福祉、野生動物の保護、新薬や農薬の毒性問題、実験動物学の重視**
- ・海外の獣医学教育は専門課程に4~5年を充当。我が国の専門教育が2年余りに過ぎないため、獣医師は業務の国際交流に極めて不利な立場に置かれている(国家リスク)。

【現在の獣医学教育の対応状況】

- ・**飼育動物の診療、動物を含む保健衛生の指導、公衆衛生の向上に寄与すること**(獣医師法第一条)
- ・獣医学教育モデル・コア・カリキュラム作成(計51科目): 「基礎・導入科目」(13科目)、 「病態獣医学」(7科目)、 「応用獣医学」(8科目)、 「臨床獣医学」(23科目)
- ・獣医学共通テキスト、獣医学共用試験、参加型実習の実現促進

【獣医学教育の国際化と新たな教育システムの構築】

- ・**「共同獣医学部」および「連携獣医学教育課程」等設置の努力 → 獣医学教育内容の国際水準化と獣医学教育機関認証 (Accreditation: AVMA, EAEVE) への対応**
- ・OIEが提唱する「Day 1 graduates」への対応とその実現